

8/1
~31 子どもたちが文化や芸術に触れる
「夏休み子供体験講座」開催

小学生を対象とした、夏休み期間恒例の「夏休み子供体験講座」を開催し、延べ190人が参加しました。この講座は、毎年夏休み期間に市文化協会加盟団体の協力のもと開催しています。

今年は28団体の協力を得て、唄と和楽器体験やビーズ作品作り、フラワーコラージュなどの講座を開催しました。参加した子どもたちは「楽しいから、来年もやりたい」と満面の笑みで話していました。



▲「唄と和楽器体験」講座では、こきりこ、尺八や太鼓などの演奏を体験しました。

8/1 500年の歴史ある通りを七夕飾りが彩る
長倉七夕まつり

500年以上の歴史がある御前山地域の「長倉宿」で「長倉七夕まつり」が開催されました。通り沿いには色とりどりの七夕飾りと、竹灯籠デザインコンテストの作品が並びました。

ステージでは、地元出身のトランペット奏者による演奏やオリジナルヒーローショーなどが祭りを盛り上げました。祭りの最後には、夜空を彩る花火が打ち上げられ、会場は多くの家族連れや地域住民の笑顔に包まれました。



▲七夕飾りと竹灯籠が設置された宿通りを、家族や友人とともに楽しむ人々にぎわいました。

8/3,5 県民総合体育大会中学生大会
市内3つの部が関東大会に出場

7月8日から25日に開催された県民総合体育大会中学生大会で関東大会出場を決めた、大宮中学校ソフトボール部、明峰中学校卓球部、山方中学校陸上部の石井聖也さんが市長・教育長に大会結果の報告を行いました。

市長・教育長との歓談では、どの学校の選手も共通して、自分の強みを分析しており、限られた時間の中で質の高い練習をしていると話していました。



▲男子卓球団体優勝の明峰中。個人は関澤遼太さん（前列左3番目）が優勝、大賀心暖さん（前列左1番目）がベスト8に輝きました。



▲準優勝に輝いた大宮中学校ソフトボール部は、近隣中学校の生徒も含めたメンバーで出場しました。



▲男子200メートル決勝で23秒23を記録し、第3位に輝いた石井聖也さん

8/7

花いけバトル優勝常連の小瀬高校で 小学生花いけチャレンジバトル

県立小瀬高等学校で、市内小学生を対象としたイベント「第2回小学生花いけチャレンジバトル」が開催されました。小瀬高校は、花いけバトル茨城県大会で4年連続優勝を果たしている強豪校です。

イベントでは、はじめに枝物の種類や花いけのコツの話を聞いた後、実際に用意された花木を使って5分以内で作品製作にチャレンジしました。

参加した児童からは、「難しかったけど楽しかった」「また来年も参加したい」との感想がありました。



▲奥久慈支部会会長が「しっかり教えたら小瀬高校生と肩を並べるほどの実力になる」というほどの作品が出来上がりました。

8/9

かわプラザ隣接の川岸で 久慈川にすむ生物の観察イベント

「常陸大宮市史」の関連イベントとして、「久慈川で河原の生き物を調べよう！」を開催しました。

参加者は、自然部会専門調査員の講師から網の使い方を教わり、実際に久慈川にすむ生き物を自らの手で捕まえて観察しました。

参加者からは「アユがスイカの匂いがするというのをこのイベントで初めて知った」、「常陸大宮にいる生き物についてもっと知りたい」といった声がありました。

善意をありがとう



神永正広様 100万円（奨学基金）

8/9

やぐらを囲んだ美和音頭で心をつに 美和ふるさと祭り

お盆前の恒例イベントである「美和ふるさと祭り」が今年も美和運動公園で開催されました。

会場には、たくさんの提灯が飾られたやぐらを中心にステージや数々の屋台が並びました。ラッキーボールからスタートし、明峰中学校吹奏楽部の演奏などのステージが会場を盛り上げました。夜には、やぐらを囲んでの盆踊り大会やお楽しみ抽選会などの来場者参加型プログラムで盛り上がり、最後は目の前で打ち上がる花火で締めくくられました。



▲今年の祭りのメインタイトルである「地域の輪 心をつに 美和音頭」のとおり、老若男女がやぐらを囲んで踊りました。



▲講師は「2本の川がある自然豊かな常陸大宮市には生き物がたくさんいるのでよく観察してみてください」と参加者に話しました。

8/18 野遊びで災害対応力を育む
~19 里山キャンプ 2026 開催

豊かな自然に囲まれた花やさと山 (いばらきフラワーパーク内) で、市内小学5～6年生を対象とした里山キャンプを開催し、38人が参加しました。

ロープワーク、シェルターづくり、火おこし、焚火ワークなどの様々なブッシュクラフトを体験し、災害対応として「命の5要素」を学びました。子どもたちが協力して共通の目標を達成することでチームワークが深まり、声をかけ合いながら笑顔いっぱいに活動する頼もしい姿が見られました。



▲夕食作りでは自分たちで集めた枝木を燃料に、ハムステーキを焼いたり、飯ごうでご飯とポトフを作ったりしました。

8/19 令和8年熊本地震
区長会が義援金を寄託

令和8年熊本地震の被災者を支援するため、市内各区から寄せられた義援金861,827円を公益財団法人茨城新聞文化福祉事業団へ寄託しました。

義援金は熊本県が設置した義援金配分委員会を通じて、各被災地に届けられます。

常陸大宮市区長会の野上会長は「被災された皆さんの1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます」とコメントしました。

8/19 市発注の工事を適正に行った業者を表彰
優秀建設業者表彰式

市が発注した建設工事を適正に施工し、優秀な成績で完成した建設業者と主任(監理)技術者の表彰式を開催しました。

【受賞者】

(株)瀧工務店 主任技術者 高橋栄
(株)カケフダ 主任技術者 森嶋善宏
暁飯島・神永特定建設工事共同企業体
監理技術者 中山雅幸(暁飯島工業(株))
主任技術者 野上和則(株)神永工務店



▲功績をたたえられた皆さん



▲(左から)茨城新聞文化福祉事業団沼田会長、区長会野上会長、木村副会長、鯉沼副会長、加藤木副会長、中島副会長

8/20 友好都市・秋田県大館市の特色にふれる
~22 小学生友好都市教育交流事業

大宮小学校5年生13人が、常陸大宮市と友好都市である秋田県大館市を訪れ、城南小学校6年生と交流しました。平成9年に城南小学校の児童が町名「部垂」の由来を調べたことがきっかけで、部垂城跡にある大宮小学校と交流が始まりました。

今年は、秋田県の郷土料理のきりたんぼ鍋作り、世界最大級の木造ドームの「ニプロハチ公ドーム」見学、秋田犬とのふれあい、曲げわっぱのパン皿作りの体験を通して交流を深めました。



▲きりたんぼ鍋作り体験では、「みそつけたんぼ」「きりたんぼ鍋」を城南小学校6年生と一緒に作って交流を深めました。

8/22 家族みんなでアユのつかみどりに大興奮
あゆの里まつり

夏恒例イベント「あゆの里まつり」が神奉地コミュニティセンター、神奉地児童公園で開催されました。

子ども向け人気プログラム「あゆのつかみどり大会」では、小学生は会場内の池に、未就学児はビニールプールに放たれたアユを手でつかまえようと、一生懸命アユを追いかける姿が見られました。

途中、大雨に見舞われながらも、屋台やステージイベント、花火大会など、全世代で楽しめるプログラムに、終日多くの来場者でにぎわいました。



▲全身ずぶ濡れでアユを追いかける子どもたちに、保護者の声援が飛び交い、家族で大盛り上がりしていました。

8/22 水守・永田家や江戸時代の利水を紹介
常陸大宮市史刊行記念シンポジウム

『常陸大宮市史』資料編3・4の刊行を記念したシンポジウム「水守・永田家とその時代」（主催：市・一般財団法人自治総合センター）を開催しました。

辰ノ口や岩崎の三大江堰を建設・管理した永田家をテーマに、市史を執筆した近世史部会の委員3人から、用水や溜池、那珂川・久慈川舟運について、わかりやすくご講演いただきました。パネルディスカッションでは、永田家の技術の高さや伝えられてきた資料などについて理解を深めました。



▲パネルディスカッションでは、永田家と地域住民の関わりなどについて来場者から質問があり、活発な議論が交わされました。

9/5 救急隊員・消防隊員の道具や技を体験
救急・消防フェア

救急・消防の現場で使う道具や、隊員のプロの技術を体験できる「救急・消防フェア」を開催しました。

イベントでは、救急車内の道具に触れたり、煙で充満した10mのテントから避難する「煙体験」、隊員が実際の現場で使う固定されるがほどこやすいロープの結び方体験などを行いました。

参加者からは、「煙体験が貴重な経験になった」「消防士さんが優しく教えてくれてわかりやすかった」といった感想がありました。



▲防火衣装着装デモンストレーションでは、1分以内に出勤準備を行うプロの技に、この日一番の盛り上がりを見せました。